

# 平成27年度 京都府学力診断テストの結果の概要について



平成27年7月13日  
学 校 教 育 課

- ◎ 実施日 平成27年4月9日（木）～16日（木）
- ◎ 実施対象 府内全小学校（216校） 特別支援学校初等部（2校）の第4学年  
府内全中学校（97校） 特別支援学校中等部（2校）の第1学年
- ◎ 実施教科及び受検者数 小学校第4学年 国語 10,244人 算数 10,239人  
中学校第1学年 国語 10,010人 数学（算数）10,009人
- ◎ 問題内容及び問題数
  - 学力調査
    - ・ 基礎・基本に関する問題・・・20問
    - ・ 活用に関する問題・・・5問
  - 質問紙調査・・・43問（学校独自2問 計45問）

平成27年度京都府学力診断テストを実施しました。学力調査と質問紙調査の結果について概要を報告します。

## ◆学力については、小学4年、中学1年ともに概ね定着しているが、一部の領域に課題が見られる。

### <小学4年>

- ◆国語、算数ともに活用の問題に課題が見られる。国語では、「話すこと・聞くこと」「言語事項」の領域は定着しているが、「読むこと」「書くこと」の領域に課題が見られる。算数では、「数と計算」「量と測定」「図形」の領域は定着しているが、「数量関係」の領域に課題が見られる。

### <中学1年>

- ◆国語では、活用の問題に課題が見られる。また、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「言語事項」の領域は定着しているが、「読むこと」の領域の課題が大きい。数学（算数）では、基礎・基本は定着している。活用の問題については、一定の定着は見られるがまだ課題もある。また、数学（算数）では、「数と計算」「量と測定」の領域は定着しているが、「図形」「数量関係」の領域に依然課題が見られる。

## ◆授業での発表の機会やみんなで話し合う活動では、学年が上がるに従って肯定的な回答をしている児童生徒の割合が増えている。

「授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていた」という質問に対して、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と肯定的に回答している児童生徒の割合は小学4年で83.8%、中学1年で92.8%である。また、「授業では、みんなで話し合う活動をよく行っていた」という質問に対して、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と肯定的に回答している児童生徒の割合は小学4年で84.8%、中学1年で93.2%である。

## ◆家庭学習の確立については依然課題が見られる。

「学校の授業時間以外に1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」という質問に対して、「30分より少なかった」「全くしなかった」と回答している児童生徒の割合は小学4年で18.3%（H26:9.4%）、中学1年で16.6%（H26:11.0%）で30分未満の児童生徒は増加した。なお、選択項目に「全くしなかった」を追加した。

## ◆自分には、よいところがあると思っている児童生徒の割合は増えている。また、先生は、自分のよいところを認めてくれていると思っている児童生徒の割合は高い。

「自分には、よいところがあると思う」という質問に対して、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と肯定的に回答している児童生徒の割合は小学4年で79.7%、（H26:78.3%）、中学1年で71.5%（H26:68.0%）、で昨年度より増加した。また、「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う」という質問に対して、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と肯定的に回答している児童生徒の割合は小学4年で82.3%、中学1年で80.2%である。

## 改善プラン ～指導を強化する事項～

- ◆小中9年間を通じた学びの連続性を重視し、組織的な授業改善を進める。
- ◆家庭での学習習慣を身に付ける取組を小中連携の視点から推進していく。
- ◆発表する機会や話し合う活動を増やし、言語活動を充実させ、さらに指導方法を改善する。
- ◆周囲からの温かい愛情や信頼、期待を感じさせることにより「包み込まれているという感覚」をはぐくみ、自己有用感を高める。
- ◆学力診断テストの結果を分析し「学力向上プラン」の作成や「中1ふりスタ」に生かす。
- ◆「京都府学力診断テスト活用講座」を実施【7月7日・7月10日】
  - ・ 診断テストの概要について
  - ・ 成果と課題、授業改善の視点について

## 今年度新たに設定した質問

- 授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていた。(1)
- 授業では、みんなで話し合う活動をよく行っていた。(2)
- 家で学校の宿題をしていますか。(1 2小・1 4中)
- 家で学校の授業の予習や復習をしていますか。(1 4小)
- 学習塾（家庭教師を含みます。）で勉強をしていますか。(1 5)
- ふだん（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか。（携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間はのぞきます。）(2 5)
- 学校へ行くのは楽しいと思いますか。(2 7)
- 学校生活で、友だちのことで何かなやみをかかえたら、だれに相談することが多いですか。(2 8)
- ものごとを最後までやりきって、うれしかったことがある。(2 9)
- 友だちとの約束を守っている。(3 1)
- 人の気持ちが分かる人間になりたいと思う。(3 2)
- 難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦している。(3 9)
- 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う。(4 2)

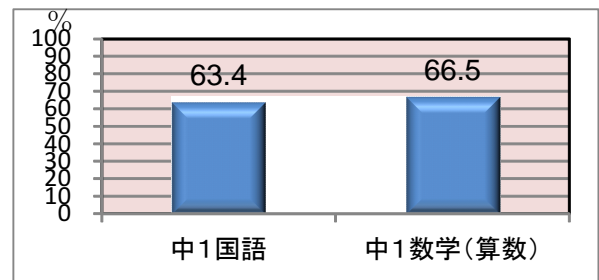
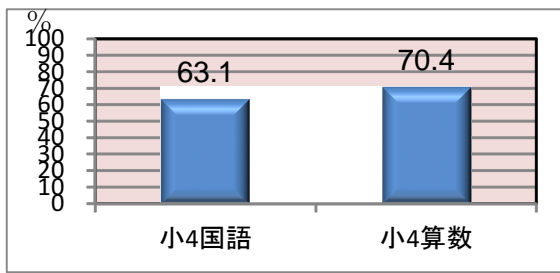
※（ ）内の番号は資料2の質問紙調査の質問番号です。

# 1 学力調査の状況

資料1

## (1) 京都府総合

※数値はすべて正答率（100%）



※小学4年、中学1年ともに学力は概ね定着しているといえるが、小・中ともに国語にやや課題が見られる。

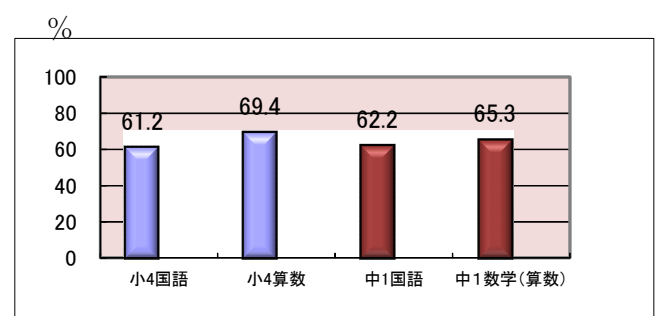
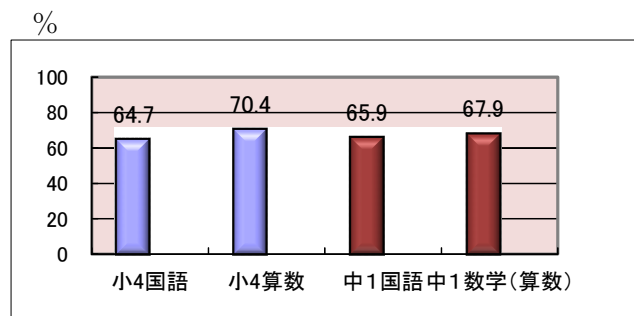
## (2) 教育局別

### 乙訓

(小18校・中8校)

### 山城

(小77校・中35校)



小4年国語 (1418人 13.8%) 算数 (1418人 13.8%)  
 中1年国語 (1296人 12.9%) 数学(算数) (1296人 12.9%)

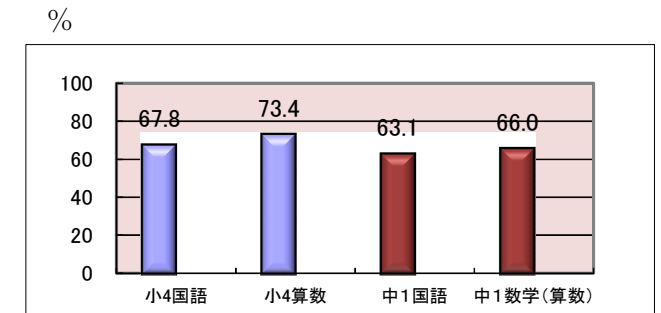
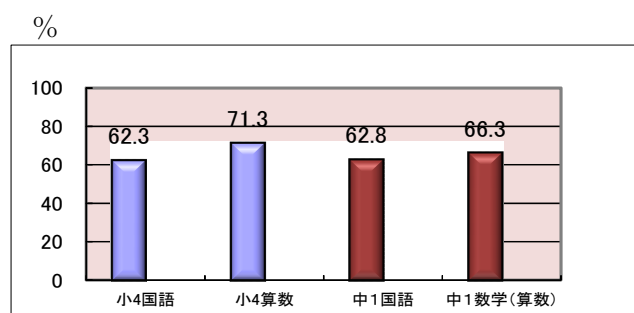
小4年国語 (5174人 50.5%) 算数 (5172人 50.5%)  
 中1年国語 (4820人 48.2%) 数学(算数) (4820人 48.2%)

### 南丹

(小34校・中16校)

### 中丹

(小50校・中22校)

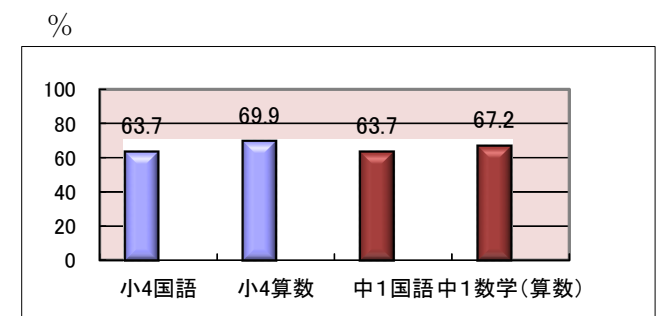


小4年国語 (1135人 11.1%) 算数 (1135人 11.1%)  
 中1年国語 (1134人 11.3%) 数学(算数) (1134人 11.3%)

小4年国語 (1736人 16.9%) 算数 (1734人 16.9%)  
 中1年国語 (1714人 17.1%) 数学(算数) (1713人 17.1%)

### 丹後

(小37校・中13校)

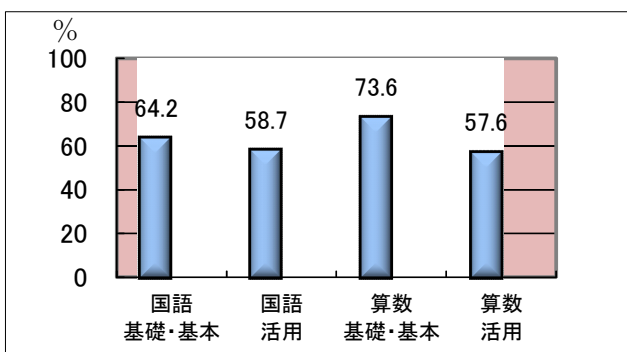


小4年国語 (777人 7.6%) 算数 (776人 7.6%)  
 中1年国語 (882人 8.8%) 数学(算数) (882人 8.8%)

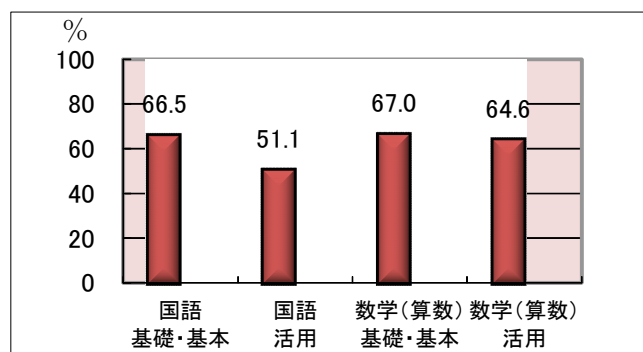
( ) は、(受検者数 / 府全体の受検者数に占める割合) を表す。

(3) 問題別 (基礎・基本に関する問題 活用にに関する問題)

小学4年



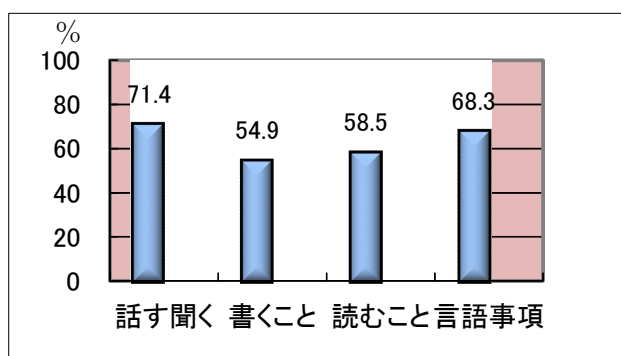
中学1年



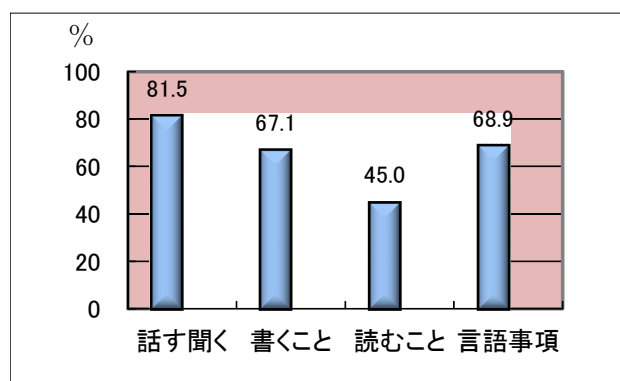
(4) 教科別の状況

国語

小学4年

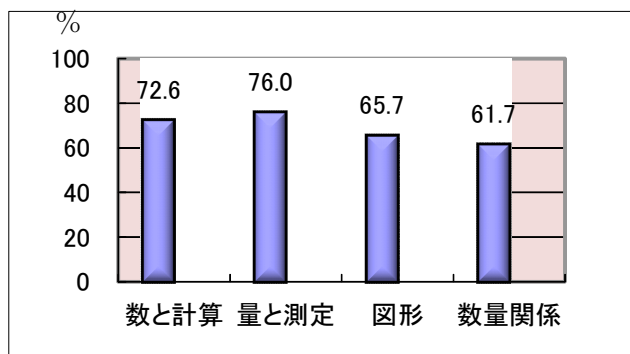


中学1年



算数

小学4年



中学1年

